

農村振興局長賞（捕獲鳥獣利活用部門（団体））

高齢狩猟者の負担軽減や若手狩猟者の確保のため、鳥獣食肉解体加工施設を開設し、福山市を中心に備後圏域※の地域資源として、捕獲鳥獣のジビエ活用を促進し販売先の拡大に注力するとともに、捕獲個体の買取り・引取り、運搬など、狩猟者へのサポートを実施。

株式会社 び ん ごと B I N G O

まえだ さとし
（代表取締役：前田 諭志）

主な取組

じんせき じんせきこうげん
広島県神石郡神石高原町

- 備後圏域で193名の狩猟者が会員となっており、捕獲後に会員からの連絡により、冷凍車で現地へ向かい、捕獲個体の止め刺しや搬出等の代行を実施。
- 野生鳥獣肉の衛生管理に関するガイドラインを厳守し、トレーサビリティを確保するとともに、精肉の細菌検査、施設内消毒を実施。
- 精肉（食肉、ペットフード）、骨（ペットフード）、革（革加工業者への販売）、内臓（一部食肉、ペットフード）は捨てることなく有効活用することで、収益の確保、廃棄の負担軽減につながっている。
- SNS等でジビエ処理施設の開業までのプロセスや開業後の活動などの情報発信を行うとともに、開業予定の視察者の受入れを行っており、捕獲方法、解体指導、精肉加工と製品に至るまでの行程の全てをオープンにすることで視察者の理解を深め、開業までのサポートや開業後の販路共有を行うなど、施設間での情報交換を実施。

【イノシシの利用頭数（施設での処理頭数）】

344頭（令和2年度）→785頭（令和4年度）